



ゆずり葉

にのみや学園
二宮町立山西小学校
学校便り「ゆずり葉」
第 121 号
山西小学校 72-3777

1年生、入学おめでとうございます 〜もつすっかい山西っ子です〜

4月5日(金)に44名の新一年生が入学して、2か月がたとうとしています。

初めての小学校生活にとまどいながらも、友達つきあいや日常生活の対応など、幼稚園や保育園で学んできたことを生かして頑張っています。

【やってみよう!】 まずは身のまわりのものを見たり触れたり、あるいは実際にやってみたりする中で学んでいくのが低学年の特性です。

「アサガオの種をまいて育てる」「校外へ出て警察等の方々から交通安全について実地で教わる」など、たくさんの方と接体験をしています。

【新鮮な出会い】 「小学校入門」

の時期です。何もかもが新しい出会いで、新鮮な気持ちでどんどん吸収していきます。「鍵盤ハーモニカ講習」「上級生と探検したり遊んだりする」「先生にインタビューする」など、教材との出会いだけでなく、様々な人に臆することなくかかわっています。



6年生、思い出に残る日光修学旅行 〜公(おおよけ)の意識、立派でした〜

5月12日(日)、13日(月)の二日間、日光へ修学旅行に行ってきました。出発の日の朝、多くの保護者の方々に駅周辺でお見送りいただき、あたたかい気持ちになりました。

いろは坂では48のカーブを運転手さんの技術とガイドさんの楽しい話術のおかげで、快適なバスの旅を楽しみました。華厳の滝は水量が少なかったものの、約100mの落差に驚きました。

壮大な輪王寺金堂、東照宮の「五重塔」「三猿」「想像の像」「陽明門」「眠り猫」などのきらびやかで緻密な細工や塗装、現代にも通じる建築構造を見ることができました。また、ガイドさんの説明によってその深い背景を知ることができました。「鳴き竜」の響きは、まさに身が引き締まる思いで聞き入りました。

自然や文化遺産を目の当たりにする感動は、書籍やネット検索等では味わえないものであり、かけがえのない経験だと、改めて感じさせられました。



二日間の楽しみの一つがお土産の購入です。事前に教室やおうちで購入計画を立てて、修学旅行当日は持ち帰った後のこともイメージしながら、売店で夢中になって、そして悩んでいました。

修学旅行は、小学校生活一番の思い出になるとはいえ、家族旅行と異なり、あくまでも「学び」の旅行です。公共交通機関の乗車、全国各地から大勢の人々が訪れる名所の観光、ホテルでの集団行動など、時間や態度、整理整頓といった気遣いも求められます。本校6年生の子どもたちは公衆道徳をわきまえて、最高学年らしく二日間を過ごすことができていたのではないのでしょうか。



今後ともよろしく願います

「子ども」「保護者」「地域」「学校」それぞれの関係において理解しあうため、ときには見守り、ときには対話することも大切であると思えます。学校行事の参観や懇談会は肌感覚での理解につながる好機であると考えます。また、各種「たより」やホームページ、マチコミにより、その隙間を極力補っていきたく考えます。

【山西小学校ホームページのURL】

<http://yamani-shi-elementary-school.edumap.jp>



【山西小HP】